

2025 年 10 月 1 日
株式会社 Retail-CIX

トライアルカンパニーへのサプライチェーン最適化サービスの導入開始 ～AI とデジタルツイン技術を用いた発注最適化による店舗作業コストの削減～

株式会社 Retail-CIX(本社:東京都港区、以下「Retail-CIX」)は、株式会社トライアルカンパニー(本社:福岡県福岡市、以下「トライアル」)に対して、AI とデジタルツイン技術を用いた発注最適化ソリューション「CIX-自動発注」の導入を 2025 年 9 月より開始しました。

1. 背景

Retail-CIX は、流通業界において見えづかった需要・発注・在庫・棚割・物流・店舗作業といった一連のプロセスを、AI とデジタルツイン技術を用いて可視化・全体最適化することで、製・配・販の各段階での配送コストや店舗人件費の削減に取り組んでいます。

今回はそうした Retail-CIX の提供するサプライチェーン最適化サービスの第一弾として、“店舗において欠品なく、在庫を最適化しながら、店舗補充作業を削減”する発注最適化ソリューションを、トライアルの店舗において実証に取り組んでまいりました。その成果をもとに、トライアルは本格的な店舗展開を決定しました。

2. トライアル店舗での実証概要と成果

(1)実証概要

店舗内作業効率化を目指し、発注最適化AIによる補充作業時間削減効果を検証

STEP1:九州1店舗でグロサリー部門での実証を実施(2025年1月13日～)

STEP2:店舗およびカテゴリの対象を拡大(2025年5月12日～)

-27店舗、グロサリーから菓子、日雑(生活消耗)、日配(和・洋)

(2)成果のサマリー

発注最適化の取り組みによる作業人時削減の効果＝合計180人時/月相当

-グロサリー:補充作業人時の23%削減

-菓子:補充作業人時の6%削減

-生活消耗:補充作業人時の16%削減

-日配:補充作業人時の17%削減

3. 発注最適化ソリューションの特長

(1)CIX-自動発注機能

納品効率化・集約機能	✓ 複数の発注をまとめることで、納品回数を最適化 ✓ バラバラな納品による作業の煩雑化を防ぎ、作業効率化を実現
棚割連動型在庫最適化	✓ 商品の棚割情報と売場状態を把握し、棚に収まる適正量を自動算出。過剰発注による棚上げ作業を削減しながら、商品ばらまき作業を考慮した発注調整で補充作業の負荷も軽減 ✓ さらにバックヤード在庫を最小化することで、商品の保管スペースの効率化と作業効率を同時に実現

(2)CIX-業務指示機能(※1)

業務指示機能	✓ 需要予測と在庫データを分析し、棚ごとに補充の要・不要を自動判定。販売動向と在庫状況を踏まえて、本当に品出しが必要な棚だけを特定 ✓ 画一的な品出し作業から脱却し、データに基づいた効率的な作業配分を実現。スタッフの作業負荷を軽減しながら、売場の商品充実度を維持
--------	--

(※1 今後展開予定)

4. 今後の展開

今後はトライアル以外のスーパーマーケットに加え、ドラッグストアやホームセンターなど小売業に展開してまいります。

棚割等さらなる店舗オペレーションの適正化や、物流コスト削減にむけた取り組みに加え、小売と卸会社やメーカーと連携した取り組みにより、さらなるサプライチェーン最適化を実現してまいります。

5. 本件に関するお問い合わせ

株式会社 Retail-CIX contact@retail-cix.jp